

戸田歴史 さんぽ (7)

時重初熊先生は土族音二郎氏の長男で、安政6年戸田村昇仙峰の麓で生れ、日本獣医学博士の第1号である。(博士としては3人目)

♪略歴

- ・1859年(安政6年11月28日)～1913年(大正2年4月19日)
- ・明治4年17才にて小学校員養成所入所6ヶ月で教員となる。(防府松崎小学校)
- ・明治13年東京駒場農学校(現・東京大学農学部)入学し主席で獣医学科卒業
- ・明治31年ドイツ留学
- ・明治32年獣医学博士の学位を受領



♪戸田山に生まれる

時重博士生誕の地である武家屋敷があったのは、現上田義明氏宅である。庭にある御影石の手水鉢が昔を語ってくれる。

♪博士の業績大領

獣医学研究のためドイツに留学、帰国後馬の病原体を発見「仮性日痘病の研究」を発表、牛馬の病原の発見・血清の創設、ヒムシ病・結核病・ダニ熱等々の研究し獣医学の進歩発展に寄与、名声は海外でも評価される。その後各種予防液血清・診断薬の製造・原因不明の伝染病の研究指導し偉大なる効果を上げる。畜産会の恩人であり日本の獣医学会の発展に貢献された。

♪勅旨(天皇のお言葉)を賜る



大正2年博士没に際し、勅旨を賜り勅使(天皇の使者)として県知事が使わされた。勅使を迎えるにあたり博士邸まで道が整備され玉砂利の立派な道路が新設された。

♪戸田山麓が迫墓地に博士の墓

墓地は昭和54年5月に有志により改修された。県獣医師会中心となり偉大な博士を偲び2年に一度お墓の掃除・法要が行われている。(戸田村教育史より、時重家親族の山田家山田泰子氏より情報写真提供)

—むら 記—

善意銀行

中村 久枝 様、尾上 美智子 様
皆さんから温かい善意をお寄せ頂きありがとうございます。この善意は地域福祉の為に使わせていただきます。(地区社協)

11/27(日)いけいけ大収穫祭

in/レーネ周南



あいにくの雨で縮小しての開催となりましたが、屋根の下に入りきららないくらいの来場者でにぎわいました。

戸田支所宿日直職員募集

- 【内容】夜間や市役所閉庁時の施設管理、電話対応、災害及び火災発生時等の連絡対応等。
- 【日数】宿直一月あたり：17日以内
日直一月あたり：12日以内
- 【時間】宿直：17時15分～翌朝8時30分
日直：8時30分～17時15分
- 【人数】宿直：3名程度 日直：1名程度
- 【報酬】宿直：月額9万円以内 日直：月額8万円以内
- 【雇用期間】平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 【選考】指定日に面接を行います。
- 【申込】2月15日までに履歴書を戸田支所へ提出
※その他の詳細は戸田支所まで Tel 83-2001

おすすめの1冊



「きらきら」

写真 吉田六郎
文 谷川俊太郎

雪の結晶の基本は六角形、その形は無限に変化し、同じものはひとつもありません。「きらきらかがやくかみさまのおくりもの」そのものです。「雪の写真家ベントレー」「雪は天からの手紙」なども合わせて読むとおもしろいかも…。
こどもとしょかんタイムマシン

編集後記

あけましておめでとうございます。さて、年が明けて支所の蟬梅の枝に鳥がとまっていた。調べたところ、ジョウビタキという渡り鳥だそうです。新年早々、酉年を告げる思わぬ来客に、今年は良いことがあると勝手に確信し、気持ちだけ羽ばたいています。(C記)

戸田だより

さくらら

地域情報誌
2017 新春
号
2月1日発行
Vol. 34

<発行・編集>戸田公民館 コミュニティ推協 社会福祉協議会 編集委員会

謹賀新年



しめ飾りづくり講習会

新年ふれあいの集い

新年ふれあいの集い

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいいたします。写真は、戸田地区で恒例行事の昇仙峰新春登山と新春ふれあいの集い、しめ飾りづくりの様子です。今年の初日の出は、やや雲がかかってはいましたが、徐々に姿を現す光景は神秘的で、山の輪郭をはっきりと映し出すように赤く塗られた空もきれいでした。しめ飾りでは力作が並び、新年のふれあいの集いも盛大に開催されました。今年もきっと良い年になると思います。

桜田ミニバス

第48回全国ミニバスケットボール大会初出場



桜田ミニバスが、昨年11月末に開催された平成28年度第32回山口県ミニバスケットボール決勝大会において見事**初優勝**を成し遂げ、平成29年3月28日～30日に東京都代々木体育館で開催される第48回**全国**ミニバスケットボール大会への**出場権**を獲得致しました。

この結果は、日頃からお世話になっているチームの方々と近隣の皆様方の力強い応援と、選手（子供達）並びにチーム関係者全員が一丸となって掴んだものだと感じております。

新委員がスタート

平成28年11月に、民生委員・児童委員、主任児童委員が改選され、新委員がスタートしました。

12月1日より3年間、戸田地区高齢者の方々の訪問、相談活動を続けたいと思います。少子高齢化の進む中、限られた委員だけでは十分な活動はできません。福祉員さんをはじめ、地域のみなさん方のご協力をいただきながら、がんばりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

民生委員・児童委員協議会組織

- 会長：西村 明
- 副会長：前田 則之
- 民生委員：西本 篤幸
- // ：酒井 敏明
- // ：吉信 陽子
- // ：有松るり子
- // ：永山 美子（新）
- 主任児童委員：西嶋佳代子
- // ：河津 由美



※足達博子さんが、永山美子さんと交代されました。足達さん、長い間お世話になりました。

永山さん、よろしくお願いいたします。一緒にがんばりましょう。

12/9(金) 福祉弁当配布



社会福祉協議会の福祉弁当配布がありました。戸田婦人会の手作りのお弁当が、民生委員・福祉員により届けられました。一人暮らしの高齢者、寝たきりの高齢者の方を対象に、約150人に配られました。

12/18(日)グラウンド側溝清掃



西徳山総合グラウンドの側溝清掃を実施しました。当日は、西徳山総合グラウンド運営委員、各自治会、コミュニティ、スポ少・桜田中・グラウンドゴルフ等利用者団体の皆さまに参加いただき、多くの方が集まりました。

山から流れた土砂やイノシシが荒らしたことで埋まっていた側溝がきれいになり、水が流れるようになりました。

今後も継続的に側溝清掃を実施する予定なので、ご協力をよろしくお願いいたします。

12/14(水)寄せ植え教室



戸田公民館で開催しました。米沢園芸の田村さんを講師に迎え、楽しいお話を聞きながら、あっという間の時間を過ごしました。

戸田の人 インタビュー No.7 田中 勝さん 京子さん

子どもに魚を食べてもらいたい。



今回は桑原にお住いの漁師・田中勝さんと妻・京子さんにインタビューしました。

漁師になったきっかけ…代々漁師の家系に生まれ、中学生の頃から漁の仕事をお手伝いしていたそうです。その当時は、夏休みなど学校が休みに

なると漁に連れて行かれるため、休みがない方がよかったとのこと。

タコはどうやって獲る？…夫婦お二人で「第2勝漁丸」に乗って漁に出ます。船の操縦は勝さん、餌の括り付けと海へ投入するのは京子さんが行うそうです。タコはプラスチック製の餌つぼを海の中に仕掛けることで獲ります。餌となるカニや瀬戸貝をつぼ内部に括り付け、タコがその餌を食べるとつぼの蓋が閉まり閉じ込める仕組みとなっています。後日、仕掛けた餌つぼを揚げに行きます。

タコの一番おいしい食べ方…ゆでたてをかぶりつくことだそうです。タコ飯は生だこを使い、ごぼうを入れると臭みもとれて絶品。

現在の活動…周南市全域の幼稚園・小学校で食育教室もされています。タコの生態や漁の仕方を子どもたちに教えた後、実際にタコをゆでて食べたりしているそうです。子ども達からは「タコのおじさん」の愛称で、親しまれています。

「子どもに魚を食べてもらいたい。」

魚が苦手な子どもや、魚の調理が苦手な人も増えてきています。そんな中、漁に出ることのほか、食育活動などを通じて、子ども達に魚を食べてもらえるよう活動をしていきたいとのこと。



戸田支所イルミネーション



12月4日(日)～1月8日(日)の期間で戸田支所に初めてイルミネーションを設置しました。今回はハートの飾りつけで支所をやさしく照らしてくれ

ました。ハートの前で写真を撮って、恋が成就した方もいたようです。来年も、冬の名物スポットとして賑わうとよいですね。

11/6(日)みのりフェスタ2016



福引や重さ当てゲーム、初めての試みとなるハイハイヨチヨチレースも大盛況でした。地域の皆さま、出店・展示・演芸等、ご協力ありがとうございました。

いきいき百歳体操

毎週水曜日
13:30～
2月からスタート



2月から戸田公民館で新たな講座がスタートします。絵のようにおもりをつけて体操します。お気軽にご参加ください。

1月から毎週火曜10時～ソレーネ周南研修室でも講座を開催しています。そちらもお気軽に。

12/5(月) 公民館一斉清掃

利用者のみなさんご協力ありがとうございました。戸田公民館では半年に一回、一斉清掃を行っています。みんなで協力してきれいな公民館を保っていきましょう。

